

第2回 羽田空港の機能・施設等に関する検討会 視察概要

日時：令和5年12月7日（木）13:30～16:00

場所：羽田空港

視察概要

- 旧整備場地区全体を回り、当該地区の現在の土地の利用状況や、ランドサイドにおける既存民間施設の実際の配置、エアサイドにおける嵩上げ工事の状況等を視察した。
- また、既存民間施設において、実際の利用状況を視察し、施設が点在している状況による非効率さや、台風やゲリラ豪雨により冠水してしまう状況等をヒアリングした。

（構成員からの主な発言）

- 稼働中の施設が、点在しているとはいえ多くある状況で、見た目にも分かるくらい土地を嵩上げするのは非常に大きな事業であると実感した。また、新しく活用できる土地が得られ、施設の整備・配置を議論できる貴重な機会でもあるため、着実かつ速やかに当該事業を進めることが必要であると感じた。
- 空港用地における、国の整備事業による既存民間施設の取扱い方針は、今後、他空港でも同様の課題が生じる可能性がある。この検討は一つの先例となり得るものであるので、しっかりと見ていかなければならない。
- 既存民間事業者の施設に大きな変更を伴う事業であり、当該事業に前向きなアプローチで向き合い、整備後のこの地区をより良い形で使っていければと思う。

以上

視察の様子（写真）

